

愛着いっぱい! 究極のマーベル劇場

インストール/木田電業 宮崎県 末吉邸 phonenumber:0000

CASE 3

MIYAZAKI

文/編集部
写真/草野清一郎



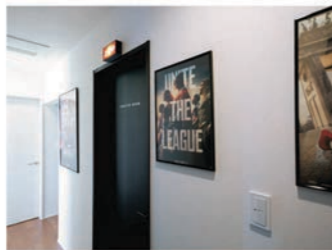


シネコンにインスパイアを受け、ニトリのリクライニングチェアやラグは赤を選んでいる。さらに、映画館らしさを演出するため、井上氏は間接照明の導入もアドバイスした。

オーナーのこだわり

映画館らしさ満点の内装

コンセプトは「マーベル部屋」。住まいのなかでも非日常性を味わえる空間にしたかったため、2階専用室までの廊下にはマーベル映画のポスターをディスプレイ。扉の上には「ON AIR」サインランプをあしらひ、「自分だけの映画館」らしさを演出している。



カラオケも楽しみたいという要望に合わせ、PAスピーカーとアンプも導入。Nintendo Switchのカラオケ用ソフト「JOYSOUND」を使って、奥様やお子さんもカラオケを楽しんでいるのだとか。



寝室にもXGIMIのモバイルプロジェクター「MoGo Pro」を導入。壁に映像を映し出し、簡易的なホームシアターを楽しめるようにしている。

INSTALL



木田電業
宮崎県都城市山之口町富吉4192-4
☎0986-57-4305
https://kida-dengyo.com/
井上祐樹氏 philenumber:2170

SYSTEM LIST

- プロジェクター: JVC LX-NX3
- スクリーン: サンゲツ プロジェクター用壁紙
- ブルーレイレコーダー: シャープ BD-W550
- AVアンプ: ヤマハ RX-A2A
- フロントスピーカー: イクリプス TD508MK3
- センタースピーカー: イクリプス TD508MK3
- リアスピーカー: イクリプス TD307MK3
- トップミドルスピーカー: イクリプス TF307MK3
- サブウーファー: イクリプス TD316SWMK2
- ゲーム機: 任天堂 Nintendo Switch
- ゲーム機: ソニー PlayStation 4
- PAスピーカー: CLASSIC PRO CSP●
- カラオケ用アンプ: CLASSIC PRO KOK700

HOME THEATER DATA

- 家族構成: 夫婦+子ども2人
- ホームシアターの広さ: 約8畳
- 画面サイズ: 約110インチ
- サラウンド: 5.1.2ch
- インストール内容: 機器設置、システムプランニング、カラオケ提案 ほか

ARCHITECT

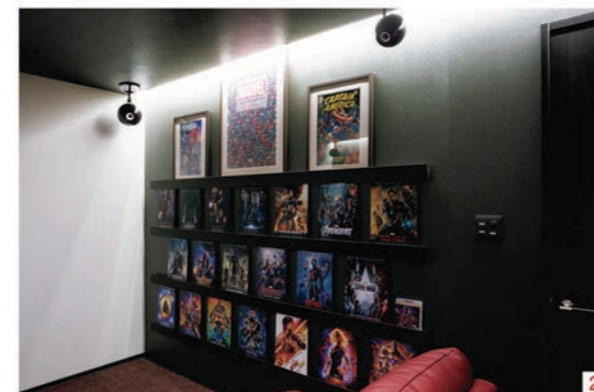
積水ハウス株式会社
https://www.sekisuishouse.co.jp/

あえて壁投写にすることで、迫力の音響にコストを割いた。赤いラグにリクライニングソファ、壁面にディスプレイされたスチールブック仕様のブルーレイ、マーベル・コミックス、映画のポスター。階段を上って目の前に現れた部屋には、まるでシネコンに足を踏み入れたかのような空間が広がっていた。末吉さんは大のマーベル映画好き。家を新築するならホームシアターをつくりたいと考えていた矢先、ハウスメーカーの積水ハウスから宮崎県のホームシアターショップ、木田電業の井上祐樹氏を紹介してもらい、とんとん拍子で話が進むことに。目指すは「マーベル部屋」。書店で手に取った小誌「ホームシアターフイルムPLUS」に載っている実例を参考にしながらイメージを膨らませ、井上氏と二人三脚で「夢の映画館のある家」をつくり上げた。



末吉さんご一家。元々は映画にさほど興味はなかった奥様も、いまではご主人と一緒にマーベルドラマを観ているのだとか。

部屋は防音仕様で、積水ハウスの「レベル●」グレードの遮音性能になっている。プロダクトについても、感動の大きさは迫力のサラウンドに比例するからと、イクリプスの「TD508MK3」を中心としたドルビーアトモス5.1.2chを提案した。そして映像面は、JVCの4K/HDR対応プロジェクター「LX-NZ3」をチョイス。壁をサンゲツのプロジェクト用壁紙で仕上げることで、あえて壁投写を選択し、スクリーン分のコストを音響機器に充てている。井上氏はそれらの機器を、空間の意匠性や遮音性能を損ねないようにレイアウトした。プロジェクトはマーベルグッズやゲームのディスプレイを兼ねた造作棚に設置。スピーカーの天吊りひとつ取っても、ドアと干渉しないようにバランスを取りながら配置するなど、インストーラーの技が詰め込まれている。さらに、カラオケ用アンプとPAスピーカーも導入してカラオケを楽しめるようにするなど、暮らしを豊かにする提案も盛り込んだ。「ホームシアターができてから、毎日、Disney+でマーベルのドラマを観ています。妻ともたまに観ていますが、育児の息抜きになっているようですね」とご主人。大好きなモノに囲まれた空間は、シネコンとは異なり、まさに末吉さんだけのオリジナルの映画館。そこで味わう感動は格別には違いない。



1 スクリーンは設けずに壁投写を選択。正面の壁は、光を拡散する特性を持つ、サンゲツの「プロジェクター用壁紙」で仕上げられている。「好みの画面サイズに調整するのも簡単なので、壁投写をお薦めしました」と井上氏。2 部屋の両サイドにはマーベル映画のポスターやスチールブック仕様のブルーレイがディスプレイされている。



機器と内装にこだわった自分だけの映画館



3 フロントおよびセンタースピーカーはイクリプスの「TD508MK3」をチョイス。遮音性能を損ねないように、埋め込みではなく天吊りできるモデルを選んだ。4 サブウーファもイクリプスで、16cmウーファーを2基対向配置したコンパクトなモデル「TD316SWMK2」を選んだ。5 6 JVCの4K/HDRプロジェクター「LX-NZ3」およびヤマハのAVアンプ「RX-A2A」は、視聴位置後方の棚に設置している。棚の奥行きは、ゆとりを持って機器を置けるように、井上氏が設計士に寸法を指定したのだとか。